
岐阜県立岐阜商業高等学校

校 長 村山 義広
学校住所 岐阜市則武新屋敷1816-6 電話 058-231-6161

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜商業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年11月6日(月) 10:00~11:30
- 3 開催場所 岐阜商業高等学校 校長室
- 4 参加者
会 長 川島 政樹 カワボウ株式会社 代表取締役社長
委 員 和田 直也 岐阜市議会議員
大野 裕美 早田公民館 元館長
濱田 美姫 全日制PTA特別活動委員長
尾山 智子 定時制育友会副会長

学 校 側
村山 義広 校長
廣江 修 副校長
吉田 美智代 教頭
早矢仕 賢治 教頭
田中 英淳 商業教育推進部長
後藤 敦史 教務部長
糸井 統 生徒指導部長
大池 須美子 進学指導部長

- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 学校長挨拶
 - (2) 授業公開(全日制2限目)
 - (3) 生徒の活動の様子について(質疑応答・意見交換)
 - (4) 学校長及び各分掌より報告
 - (5) その他

【全日制】

意見1:商業高校の目標の1つとして、簿記2級は皆さんに取得していただきたいと思っている。さらに1級を取得するというのがかなりのステータスになるので、ぜひ頑張ってもらいたいなと思っている。マーケティングの授業はIT機器を使いながら起業のしくみなどについて展開されており、非常に興味深いものであった。また、最近はスマホの普及により、キーボードのタイピングが苦手な学生が増えている中でタイピングやエクセルの基本的操作等を授業で実施されていることは企業側からすると有難い。

意見2:実務的な授業が一層強化されていると感じた。また、かつての県岐商の生徒は体育会的な挨拶ができていたが、最近はそのような挨拶が減ったように感じる。体育会的な挨拶がいいか悪いかは別としても自然な挨拶を含め、県岐商らしい気持ちの良い挨拶ができると良い。

意見3:今日はいつもの商業の授業とは違う分野の授業を見せていただき、生徒ともお話しすることができ楽しませてもらった。技術的にも感覚的にも素晴らしいものをもった生徒さんの真剣に取り組

む姿はさすが県岐商だなと思った。

意見4：教室が狭く、生徒が窮屈そうであった。授業は商業ならではの授業や検定に向けた取り組みなどが見られ、個に応じた勉強ができてるのが素晴らしいと思った。

意見5：インフルエンザやコロナによる学級閉鎖があった場合、貴校においては学級閉鎖中の授業はどのような対応をしているか。小・中学校などはオンラインで授業を展開している。特に岐阜市などでは学びを止めないように授業とオンラインのハイブリッド形式で授業を展開するなど工夫してやっているの、そのあたりもぜひ、研究していただきたい。

⇒今回のインフルエンザによる学級閉鎖については、オンライン授業は実施していない。

意見6：簿記2級は社会に出ても高いスキルだということを生徒たちに話していただきたい。AIやITの普及により、会計や経理がこれらに置きかわると言われながら、経営を考える流れの中で基本となるものごとの考え方になるので、これをわかっているソフトウェアやアプリケーションを使うか、わからずに使うかでは雲泥の差である。普通高校と商業高校の差別化を図る中で、会計というものをどうとらえていくかは非常に重要である。

意見7：他県では普通科への進学が優先され、商業や工業など専門高校へ進学することが消極的選択になっている傾向がある中で岐阜県は違う。ある程度学力のある普通高校を選択できる生徒が県岐商をあえて選択する。これは県岐商の伝統であったり、カリキュラムであったり、学校に対する高い評価のあらわれであり、この伝統を維持できる学校運営を今後もお願いしたい。

意見8：実務的な外部講師を招聘する機会を増やして、生徒たちに提供していただきたい。そのために必要な経費は学校から提案していただければ、同窓会としても動きやすい。強化基金は部活動だけでなく、いろいろな分野であって良い。

⇒部活動の方は手厚い支援を受けている。しかし、学校の根幹は教科指導なので、学習とか学びがおろそかにならないようにしたい。そういった基金があると大変助かる。

意見9：進路指導について、先程、部長の話の中で「行ける学校」ではなく「行きたい学校」という進路指導の方針については、全く同感である。

意見10：先程、挨拶について、話題が出たが、規律を重んじる方針で成功してきた県岐商の文化が時代が変わって裏目に出ることもあるかもしれないが、県岐商の良さというものを大切にしながら、時代に合った挨拶指導というモデルを新たに創られることを大いに期待している。

意見11：私は地元に住んでいますが、昔は生徒さんの方から挨拶をしてくれたが、最近は少なくなってきたように感じる。また、今までコロナ禍でできなかったが、地域とのふれあいを考えているところである。お花の分野でも頑張っておられるので、地域の子どもたちに見せていただきながら地域とふれあいができると思う。

意見12：先程、不登校特例校の話が出ましたが、不登校の中学生を抱える親さんたちは、私たちの子どもはこれからどうなるのだろうか、中学卒業後に一般的な高校に受け入れてもらえるのだろうか、地域で受け入れてもらえるのだろうかなどという悩みも持っておられる。県岐商は定時制もあるので、受け入れ体制についてはどうか。

⇒すべての生徒に同じ基準で入試を実施している。

意見13：先日、岐商祭をはじめて経験させていただきました。県岐商の生徒の普段では見られない雰囲気で大変盛り上がりだったので良かった。

意見14：どの大学も英語は必修になっていると思うが、推薦等で入学する学生が一番習得につまづくのが英語だと聞いている。普通科高校などは英検2級等をもって入ってくる生徒もいるが、英語はビジネスの世界でも必要になるので、どの学校も早期の段階から英語学習をしっかりやられるのがよい。また、なぜ英語が必要なのかを理解させて納得させて受験させることが大切である。

⇒今社会では英検2級を取得するよう求められている。それは普通高校だけでなく、専門高校にも求められているので、本校では2年前くらいから英検2級取得に力を入れ始めている。グローバルビジネス科は当然だが、他の学科でも英検2級を取得するように力を入れている。

【定時制】

意見 15：自分が学生の時に教室から見た目線と親目線では随分、教室の見え方が違うなと思った。定時制は人数も少ないので、教室内はゆったりしていると思うが、授業や検定への取り組みもこのような感じで取り組まれているのだと想像することができた。

意見 16：先程の進路の話ではないが「行きたい学校」「やりたいこと」を子どもたちは今探しているところなので、残りの高校生活の中で見つけていけたらいいと思う。自分のやりたいことの視野を広げるためにも検定などの資格取得に頑張らせたいと思っているので、学校の方でも引き続きご指導していただきたい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、授業公開を行い、普段のありのままの生徒の姿を見ていただいた。また、委員の皆様から種々の意見交換が行われたうえで、全委員より本校の学校運営における中間報告について、承認が得られた。

さらに、企業、地域、PTAなど様々な分野から多岐にわたるご提言やご助言をいただき、今後の学校教育を運営するにあたり、大変参考となった。今後の学校経営に活かしていきたい。